

事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	<small>つしま</small> 対馬	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	<small>つしまし</small> 対馬市
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県・市・森林組合・林業公社・森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は長崎県の北西に位置する離島で、一島一市の対馬市で構成されており、森林面積は島全体の約90%にあたる63,155haを有し、県の森林の26%を占めている。民有林面積は58,127haであり、人天別では人工林が19,781ha、天然林が37,086ha、その他が1,259haとなっており、人工林率は34%となっている。齢級別では、適切な間伐等が必要なIV～X齢級の森林が34%ある一方、XⅢ齢級以上の収穫期を迎えた森林が34%に及んでいる。</p> <p>しかし、近年の木材価格の低迷と森林所有者の高齢化等による森林管理への関心の低下から、間伐や主伐・再造林等による資源の循環利用が行われず、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進が懸念されており、間伐等適切な森林整備が求められている。</p> <p>今後、適切な森林整備を進めるには、生産コストを縮減し、収益性の向上を図る必要があるが、小規模所有者森林の集約化、高性能林業機械の計画的導入、林業就業者の確保等が課題となっている。</p> <p>このため、施業の集約化を一層進め、路網整備と高性能林業機械の効率的な利用による生産コストの縮減を図ることで、安定的な林業経営体系の構築を目指すとともに、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、本事業により、適切な保育間伐や主伐・再造林による資源の循環を図るほか、適切な森林整備を効率的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	森林整備：4,841ha 人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐、除伐等 総事業費：1,858,442千円（税抜き1,689,493千円）
費用便益分析結果	B/C=4.28 総便益（B）=22,255,003千円 総費用（C）=5,200,553千円
評価結果	<p>必要性：森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがあるため、適切な森林整備が求められている地域であり、要保育対象林分の残存状況、森林整備の緊急性などの観点からも早急な対策が必要なことから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業により、水源涵養機能や土砂流出防止機能等の森林の有する公益的機能の維持増進が図られるとともに、資源循環による木材生産の推進や安定的な林業経営体系の構築にもつながることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

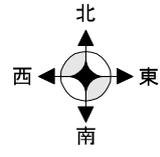
都道府県名：長崎県

地域(地区)名：対馬^{つしま}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,726,677	
	流域貯水便益	1,434,852	
	水質浄化便益	5,293,521	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,554,891	
環境保全便益	炭素固定便益	3,859,270	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,385,792	
総 便 益 (B)		22,255,003	
総 費 用 (C)		5,200,553	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,255,003}{5,200,553} = 4.28$		

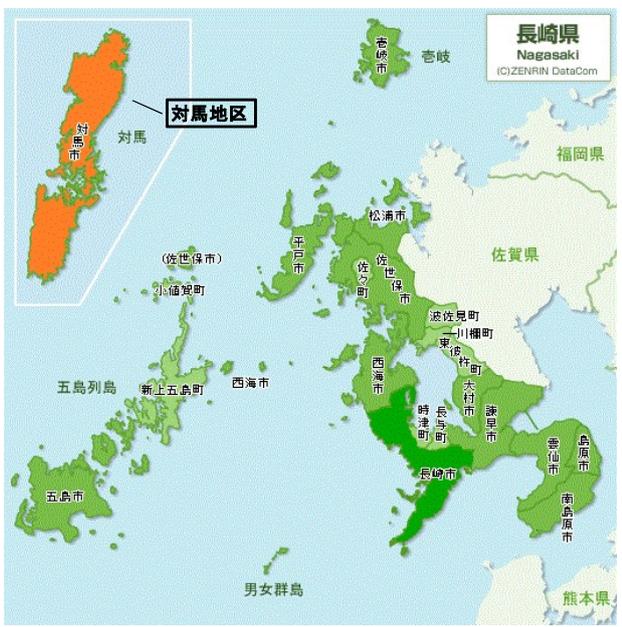
対馬地域の概要図



(凡例)

山岳	▲
河川	~~~~~
主要道路	———
国有林	◐
市役所	○
町界	⋯⋯⋯
計画界	———

位置図



縮尺 1:350,000